
「ホシ、ほんまじゃ ほんまじゃ」

～高齢者芸能指導者研修会が開催されました～

6月2日、徳島市のあわぎんホールにおいて、芸能指導者研修会が行われ、県下各地における踊りの指導者等約350名が参加しました。

講師にはお馴染みの花柳淳吾先生（鳴門市）をお招きし、いつもながらの楽しいおしゃべりを交えながら、身振り手振りの分かりやすく、丁寧な振り付けの指導で研修が進められました。



本年度の課題曲は「徳島ほんまじゃ節」（作詞 東根泰章，作曲 中島昭二），徳島にまつわる風習や雑学的なものを歌詞に盛り込んだユニークな歌で、「柏餅」を巻く葉っぱの名前が「サルトリ イバラ」ということ，和菓子「不老柿」に使われるシナモンは「桂皮」と書いてあること，製塩が盛んであった鳴門では砂糖が貴重品であったため，お祝いの赤飯には砂糖がふりかけて食べているといった話のあと，阿波弁で「ソレ，ほんまじゃ ほんまじゃ」（ほんまじゃ：本当）と歌われます。踊りは要所に手拭いを使い，くるくると回す動作が印象的な振り付けとなっています。

午後からは，課題曲の復習とあわせて，昨年度の課題曲「レクレク音頭」の復習も行われました。さすが各地のリーダーとあって，講師先生が驚くほど，覚えておられるようでした。途中，実際に課題曲を歌う山本和実さんが生歌を披露，参加者の踊りにも力が入っていた様子でした。

最後に来年度の再会を願って，研修会の全日程を終了しました。

